

レジオネラ肺炎の1例

淡路市 栗田医院 栗田 哲司（医師）

4類感染症であるレジオネラ症は兵庫県感染症発生動向調査週報に散見されるが、開業医仲間に聞いてみても馴染みのない疾患です。しかしレジオネラ肺炎は急速に進行し重症化して致命的となる場合があります、日常診療においては肺炎球菌肺炎とともに念頭に置く必要があります。

2004年に尿中レジオネラ抗原検査が保険適用になり、2005年に日本呼吸器学会のガイドラインで中等症以上の肺炎において、この尿中抗原検査が肺炎治療のフローチャートに明記されました。

今回、尿中レジオネラ抗原検査により発症早期に診断でき軽快したレジオネラ肺炎を経験したので、日常診療の参考になればと思い症例提示します。